

## 南雄太 専任 助理教授

**學歷：** 日本専修大学日本語日本文学研究科博士  
日本専修大学日本語日本文学研究科碩士

**經歷：** 韓国清州大学校東洋語文学部日語日文学科 専任講師

**榮譽：**

**専長：** 日本文学、日本文化

**教學：** 日本語会話、日文習作、日本文学、日本専書選讀、日本商業文書

**著作：** 壹、期刊論文

1. 南雄太(2010.1)「村上龍『フィジーの小人論』—『主体の複数化』という戦略から見た九〇年代(キューバ発見)以降の作品群との方法的関連性について」『専修国文 第八十六号』93頁~130頁
2. 南雄太. 韓光洙(2004.11)「村上春樹の作品世界——社会的現実に『かかわらない』作家から『かかわろう』とする作家へ」『日本学報 第61集』韓国日本学会、737頁~750頁
3. 南雄太(2004.4)「村上龍の〈基地〉(佐世保/福生)——『限りなく透明に近いブルー』/『69』/『村上龍映画小説集』」『日本文学研究の諸相』専修大学大学院畑研究室、109頁~125頁
4. 南雄太(2003.12)「谷崎潤一郎『独探』に関する一考察——近代日本における〈ナショナリズム〉との関連を軸として」『続・谷崎潤一郎作品の諸相』専修大学大学院畑研究室、6頁~18頁
5. 南雄太(2001.9)「谷崎潤一郎『魔術師』論——《肉体/精神》を巡る物語」『谷崎潤一郎作品の諸相』専修大学大学院畑研究室、84頁~97頁
6. 南雄太(2000.6)「尾崎翠『第七官界彷徨』論——《名前》からのアプローチ」『尾崎翠作品の諸相』専修大学大学院畑研究室、35頁~47頁

貳、研討會論文

1. 南雄太(2011.6)「ゼロ年代の日本文学を台湾人学生に教える際直面する諸問題について」東海大学日本語文学系学術研討、台湾東海大学
2. 南雄太. 韓光洙(2004.6)「村上春樹の作品世界——社会的現実に『かかわらない』作家から『かかわろう』とする作家へ」韓国日本学会、韓国中央大学校
3. 南雄太(1998.7)「ジュヴナイルファンタジーの現在——藤原京『邪眼』シリーズを中心に」現代文学会、日本専修大学(神田校舎)

4. 南雄太(1997.12)「村上龍における身体観の変遷——『ラブ&ポップ』への軌跡」現代文学会、日本専修大学（神田校舎）

#### 参、専書

（単著）

南雄太(2007.2)『村上龍作家作品研究 村上龍の世界地図』専修大学出版局

（共著）

1. 南雄太(2007.3)「『ベッドタイムアイズ』—身体感覚と社会性—」原善編『現代女性作家読本⑨山田詠美』鼎書房、16頁～19頁
2. 南雄太(2007.2)「『家族シネマ』—家族和解の不成立と『癒し』を拒否する強さ—」川村湊編『現代女性作家読本⑧柳美里』鼎書房、44頁～47頁
3. 南雄太(2006.2)「『二百回忌』—里離れのための里帰り—」清水良典編『現代女性作家読本④笙野頼子』鼎書房、50頁～53頁

#### 肆、學位論文

1. 南雄太(2006)「村上龍作家作品研究—〈村上龍の世界地図〉—」（日本専修大学大学院日本語日本文学研究科博士号請求論文）
2. 南雄太(2000)「村上龍作家・作品研究—『コインロッカー・ベイビーズ』を中心に—」（日本専修大学日本語日本文学研究科碩士号請求論文）

計畫案：

其他：